

公開セミナー

# 世界からみた静岡県の人口と社会 —人口・災害・産業—

静岡県立大学グローバル地域センターでは、静岡県の地域産業の歴史について継続して調査研究を進めており、生産量のみならず就業人口の変化を視野に入れた研究が大切である。

このたび『静岡県史別編4 人口史』（令和3年3月刊行）が人口史研究を専門とする鬼頭宏 前静岡県立大学長の編集により刊行された。この機会に編集執筆に携わった先生方を講師として迎え、静岡県人口史の歴史的な特徴について理解を深め、今後の人口問題を考える基盤とするため公開セミナーを開催する。

開催  
日時

令和  
3年

12月4日(土)  
13:30～16:00

参加料  
無料

要・事前申込  
定員100名

## プログラム (敬称略)

開会挨拶・趣旨説明：静岡県立大学グローバル地域センター長 濱下武志

### 基調講演

ふじのくにの人口史を編む—未来への提言—

静岡県立大学特別顧問・上智大学名誉教授 鬼頭宏

### 講演

江戸から明治初年の静岡県における急激な人口変動の要因  
—家康政権の成立と崩壊、静岡藩の成立を中心に—

豊橋市図書館学芸員・NPO法人歴史資料継承機構理事 岡村龍男

### 講演

戦前期静岡県の対外移民と在住外国人

静岡文化芸術大学文化政策学部教授 四方田雅史

### 討論

コーディネーター：静岡文化芸術大学文化政策学部教授 四方田雅史

パネラー：静岡県立大学特別顧問・上智大学名誉教授 鬼頭宏

豊橋市図書館学芸員・NPO法人歴史資料継承機構理事 岡村龍男

コメンテーター：静岡県立大学グローバル地域センター特任助教・帝京大学経済学部講師 粟倉大輔

## 開催方法

### オンライン開催

#### オンライン視聴の注意点

- ビデオ会議アプリ「Zoomウェビナー」を利用し、事前に申し込んだ方にオンライン配信をします。
- 視聴される際はWi-Fi環境が無制限になっているかを必ず事前にご確認ください。
- 本セミナーの録音・録画、撮影はご遠慮ください。

## 申込方法

グローバル地域センターのウェブサイトまたは二次元コードからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。

<https://www.global-center.jp>

グローバル地域センター

検索

## 申込期限

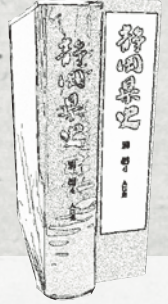
令和3年  
12月3日(金)



公開セミナー

# 世界からみた静岡県の人口と社会

## —人口・災害・産業—



### プロフィール



きとう ひろし  
**鬼頭 宏**

●静岡県立大学 特別顧問  
●上智大学 名誉教授

1947年長泉村(現、長泉町)生まれ。慶應義塾大学経済学研究科修士課程修了。慶應義塾高等学校教諭、上智大学経済学部教授を経て静岡県立大学学長(2015～2021年)。専門分野は歴史人口学、経済史。著書に『人口から読む日本の歴史』、『日本歴史 19 文明としての江戸システム』、編著に『静岡県史別編4人口史』など。日本生活学会今和次郎賞(2000年)、日本人口学会普及奨励賞(2010年)、歴史地理学会功労賞(2021年)を受賞。



よもだ まさひみ  
**四方田 雅史**

●静岡文化芸術大学文化政策学部 教授

1972年生まれ、埼玉県出身。早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程満期退学、博士(経済学)。日本学術振興会特別研究員、早稲田大学政治経済学術院助教などを経て現職。専門は経済史・産業史。とりわけ近代期の産業に関わる経済制度の日本・中国比較、経済交流史などを研究。著書としては『日中比較産業史—取引慣行と制度に見る戦前期日中経済の特質』、『地域と越境—「共生」の社会経済史—』(共著)ほか。



おかむら たつお  
**岡村 龍男**

●豊橋市図書館 学芸員  
●NPO法人歴史資料継承機構 理事

1984年静岡市生まれ。駒澤大学大学院博士後期課程単位取得退学。埼玉県立文書館、静岡市文化財課、島田市博物館を経て、2021年から豊橋市図書館学芸員。NPO法人歴史資料継承機構理事も務め、県内外で歴史資料の調査保存活動を行っている。日本近世史専攻。研究テーマは、駿府を中心とした地域社会の展開、茶生産・流通と地域社会など。静岡市と島田市では、戦国大名今川氏や刀剣に関する展示も担当。著書に『渋沢栄一と静岡』(静岡新聞社、2021)。



あわくら だいすけ  
**栗倉 大輔**

●静岡県立大学グローバル地域センター 特任助教  
●帝京大学経済学部 講師

1984年静岡市清水区出身。2015年中央大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。専攻は日本経済史、日本産業史で、近代日本の茶業史を中心に研究を進めている。また、茶業史に関係する資料の収集・保存活動にも積極的に取り組んでいる。近年では、茶の輸出だけでなく大豆の輸入の動きも視野に入れながら、戦前期清水港の貿易に関する分析も行っている。著書に『日本茶の近代史—幕末開港から明治後期まで—』(蒼天社出版、第28回茶道文化学術奨励賞受賞作)。